

各セクションの報告・情報

THE:現場

たまり場ぱれっと

～劇団レインボー・ステップアッププロジェクト

2月公演開催報告～

たまり場ぱれっとのクラブ活動のひとつ「劇団レインボー」が2月公演の本番を迎えました。2023年の8月から今回の演目に取り組み、月に2回という少ない活動ながら、実に1年半という月日をかけて作り上げてきた舞台です。

●作品は

演目は今回の公演の協力団体にも名を連ねてくださった劇団ヨロタミさんの「パネルの裏から」。プロの劇団の台本を使わせていただくという異例にして多大なるご支援を受け、メンバーも今回の舞台に一生懸命取り組んできました。最初はただ読むだけでも、あちこち引っ掛かりながらもなかなか進みませんでしたが、当日はセリフを覚えて、台本を見ないで演じる人もいて、その成長には目を見張るものがありました。

●二つのチーム

2020年の立ち上げ当時の人数は10名前後でしたが、現在劇団員は20名を超え、大所帯になってきました。そこで今回の舞台では、全体を二つのチームに分け、同じ役を二人で担当するという2回公演を組みました。これにより、他のチームの通し稽古でも自分の役を見直す機会になったという感想も聞かれました。

●当日

そして迎えた2月24日(月祝)当日、「お客さん、来るかなあ」という劇団員の心配をよそに、会場には多くの方々

が観に来てくださいました。そしてその中に劇団ヨロタミで同じ役を担当されたプロの役者さんを見つけて、緊張が頂点に達するメンバーもいました。しかしざ本番が始まると、そんな緊張をものともせず、皆練習の成果を存分に発揮、本当に力強い舞台となりました。改めて「本番に強い」劇団レインボーの特徴があちこちに見られました。



【公演本番の様子】

●感想

【お客様】

- ・楽しい公演をありがとうございました。ジュリエット役をしている時のニーナが好きです(笑)。
- ・ストーリーと表現がとにかく素晴らしいかったです。
- ・ジャックとトニーの絶妙な「間」に引き込まれて前のめりで見ていました。
- ・昨年9月の公開リハーサルの時にくらべて、大きく成長されワクワクしながら拝見しました。素晴らしいかったです！

【劇団員】

- ・緊張しましたが、なかなか良い出来だったと思います。今度は音響にも挑戦したい。
- ・たくさんのお客さんにびっくりしましたが、無事に舞台デビューを果たすことができました。
- ・練習の成果を出せたと思います。

次の目標は今年12月の公演とのことです。何をやるかは・乞うご期待。これからも応援よろしくお願いします！ (みなみやま)

おかし屋ぱれっと

けんこうしんだん
～健康診断をう
受けてきました～

おかし屋ぱれっとでは毎年通所員全員が「渋谷区障害者健康診断」を受けています。人数も多く一度では全員が受けられないので2024年10月と2025年2月の2回に分けて受診しました。集合は皆、緊張しているのか楽しみなのか!? 普段の出勤より早めに到着しました。(朝も早起きして尿検査用の採尿をしています)尿検査のキットは早めに渡すと次の日にぱれっとに提出する人が多いので受診日のギリギリで配布します。視力検査は「犬」「魚」「鳥」など生き物の絵が見えるかで判断します。採血では苦手な人は目をギュッと閉じていたり顔をそらしたりしながらも頑張りました。結果受領日は別日で行なわれます。ご家族と一緒に結果を聞き終わり皆さんが一喜一憂されていました。個別で栄養指導を受けられた方もいましたが全員が無事に終了しました。今年も元気に頑張れそうです!! (やまもと)

ぱれっとホーム

にゅうきよしゃ よ か かつどう
～入居者の余暇活動～

入居者の中には、ピアノや歌を習いにいたり、週末銭湯めぐりをする人やカラオケを楽しんでいる人、自分の好きなCDやグッズを買いに行く人もいます。以前はプールで泳いでいた人もいましたが、移動支援やご家庭の状況で行けなくなってしまったこともあります。昔のホームでは、職員といっしょに近くの銭湯に行き、世間とお付き合いを楽しんでいました。銭湯に行くことで、頭や体の洗い方などもチェックできることがあったようです。

余暇の楽しみ方は人それぞれですが、人と関わる機会を増やすことでその人の豊かな暮らしに繋がると考えます。私の趣味の一つに水泳があるのですが、一人で泳ぐことも好きなのですが、水泳教室に通うようになり、大会に出るといった新たなチャレンジにも発展しています。地域とのつながりを意識した、彼等の生活域が広がるような余暇支援を考えていきます。(そうま)

ぱれっとの家 いこっと

～ひと区切り～

いよいよ、3月末をもって、「ぱれっとの家いこっと」は15年の歴史に区切りを迎え、障害者総合支援法の法内グループホーム化に向けて大きく舵を切ります。現在入居している2名の障がいのある人はグループホーム入居者として引き続き住み続けることを確認していますが、行政の手続きや契約変更など4月以降、少し忙しくなります。3月下旬には、ささやかながら食事会を開き、元入居者を含めて、創立や運営に尽力いただいた方々と15年間のいこっとを振り返ろうという企画も立てています。法内のグループホームではありますが、その中でぱれっと「ならでは」の暮らしの選択肢をどう作っていかれるか。施行錯誤が本格的に始まります。(みなみやま)